

仙台 BOSAI-TECH カンファレンス 2024 で特別講演と成果発表会を行いました (2024/3/12)

テーマ：仙台 BOSAI-TECH カンファレンス 2024

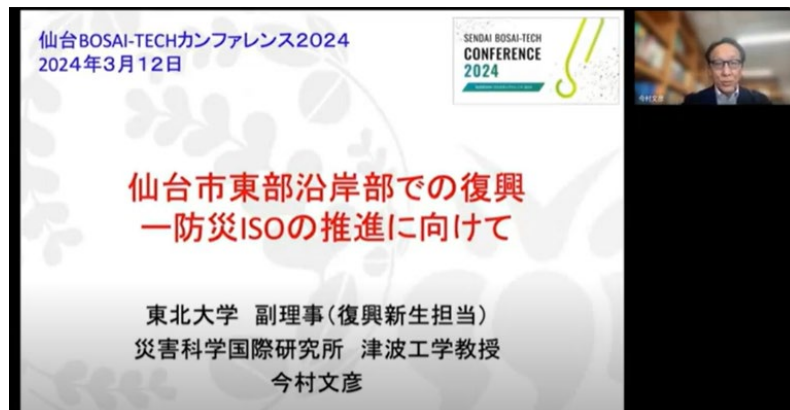
会場：オンライン

URL：<https://sendai-bosai-tech.jp/event/conference/2024/>

2024（令和6）年3月12日（火）に、仙台市主催の「仙台 BOSAI-TECH カンファレンス 2024」がオンライン方式で開催されました。このカンファレンスは、防災科学研究所（NIED）ならびに当研究所が後援しており、仙台市経済局産業振興課の久本久課長の取り組み紹介につづき、今村文彦教授（津波工学研究分野）が「仙台市東部沿岸部の復興—防災 ISO の推進に向けて」の演題で特別講演を行いました。また、当研究所とも関係の深い NIED から総合防災情報センターの臼田裕一郎センター長が直近の能登半島地震の事例も踏まえて防災 DX 推進について講演し、さらに、当研究所が包括連携協力を締結している多賀城高等学校災害科学科の生徒たちが津波伝承に関する取り組みについて講演しました。

これに加え、仙台 BOSAI-TECH の支援を受けて実施された実証実験「VR 津波避難シミュレーターの試作開発と試験展示」の成果について、成田峻之輔氏（津波工学研究分野・修士2年）が発表を行いました。このように、復興の成果や直近の災害、災害の伝承、最新の研究発表等、盛りだくさんの内容で注目度も高く、BOSAI-TECH の単独イベントとしては過去最大の参加者数になったと伝えられています。

なお、このカンファレンスの様子はアーカイブとして配信されています。



今村教授による特別講演の様様

3. 東北大学での研究事例（登壇者による修士研究から抜粋）



アイデア段階の避難誘導手法が避難行動にもたらす影響を実装前に解析

成田氏（修士2年）の成果発表

文責：鎌田健一（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）